



同志社校友会大阪支部産官学部会

LCC 新島塾だより

19 August 2013

担当: 北出 至

「歴史秘話ヒストリア」～千年の都

復興ものがたり・明治の京都へおこしやす

去る平成25年7月3日(水)同志社校友会大阪支部総会が、ウエスティンホテル大阪に於いて開催され、約三百数十名の方達が参集されました。

当日は、村田晃嗣新学長の「同志社・未来・世界」と題する講演に先がけ本井康博同志社大学神学部元教授の「新島の同志社」の講話がありました。

その中で本井先生は、次のように話されました。

「・・・覚馬は同志社にとって、あるいは京都にとっての恩人です。そういう意味ではドラマ「八重の桜」で新島八重と並んで山本覚馬が全国デビューをしてくれることは私たち同志社にとっても大変嬉しいことです。

NHKは8月、山本覚馬の番組を立ち上げます。「歴史秘話ヒストリア」です。毎週水曜日の夜の番組で、八重は4年前にデビューしましたが、今度は兄の覚馬がいよいよ単独で登場します。既にインタビューの収録も終わっています。予定通りであれば8月28日(水)午後10時、NHK京都放送局が作成し全国に流れます。是非、ご覧下さい」と。

右の覧は番組内容です。この中で山本覚馬がどのように取り上げられるか**8月28日(水曜日)午後10時、NHK総合1**にチャンネルを合わせてお楽しみください。ご参考までにお知らせ致します。



山本覚馬

明治初め、千年の都・京都は首都の座を東京に奪われ大ピンチに。

起死回生の策は外国人を呼び込む博覧会と町あげてのおもてなし作戦。年間5000万もの観光客でにぎわう美しき都・京都。しかし、150年前の明治の初め京都は幕末の動乱で焼け野原となり、天皇が東京に移ったことで荒廃していた。復興のために人々が考えたのは外国人客を呼び込む「大博覧会」。さらに外国人専用特別メニューを作るなど町をあげてのおもてなし作戦。仕上げは予算1兆円の大運河プロジェクト。それは京都独特の美しい景観の礎となった。美しき千年の都・京都の知られざる復興物語です。

(Web. より転写)